解　説

第22章 災害・事故

火災

発生件数、死傷者数とも減少

 火災件数、死傷者数

 大阪府危機管理室によると、令和3年の火災件数は1,774件で、前年に比べ129件(6.8%)減少しました。おおよそ1日に5件、5時間に1件発生したことになります。

死傷者数は443人で、前年に比べ20人(4.3%)減少しました。

 発火源別では、たばこやマッチ等それ自身が発火する「火種」によるものが601件(全件数の33.9%)と最も多く、次いで「電気による発熱体」が467件(同26.3%)、「ガス・油類を燃料とする道具装置」が349件(同19.7%)です。

自然災害

[第22章2、5表より]

人的被害、住家被害とも増加

消防白書等によると、令和3年の風水害による被害は、人的被害が13人(軽傷者13人)、住家被害が89棟(一部破損14棟、床上浸水8棟、床下浸水67棟)です。

 自然災害による人的被害、住家被害

[第22章13表、総務省消防庁「消防白書」、大阪府「大阪府災害年報」より]

労働災害

死傷者数は増加

 産業別労働災害による死傷者数

 労働者死傷病報告によると、令和3年の労働災害による死傷者数(死亡・休業4日以上のもの)は1万1,299人で、前年に比べ2,573人(29.5%)増加しました。

産業別では、「製造業」が1,844人(構成比16.3%)と最も多く、次いで「商業」1,671人(同14.8%)、「陸上貨物運送業」1,355人(同12.0%)です。

[第22章3表より]

交通事故

発生件数はほぼ横ばい、死者数は増加

大阪府警察本部によると、令和3年の交通事故発生件数は2万5,388件で、前年に比べ155件(0.6％)減少と、17年連続で減少しました。

死者数は140人で、前年に比べ16人(12.9%)増加と、平成28年から続いた減少が止まりましたが、長期的には減少傾向です。

[第22章9表より]

 交通事故発生件数、死者数

自転車関連の事故件数も、長期的には減少傾向ですが、令和3年は8,880件で、前年に比べ106件(1.2%)増加しました。

そのうち対歩行者事故件数は321件で、前年に比べ16件(4.7%)減少しましたが、10年前(平成23年)の約1.3倍です。

[第22章9表より]

※自転車関連の事故件数：「自転車が第一当事者の場合の件数」＋「自転車が第二当事者の場合の件数」－「自転車同士の件数」

 自転車事故件数、うち対歩行者事故件数